

ほどよい甘さと上品な香り とよたのブドウ「デラウェア」出荷開始



豊田市南部の高岡地区（中田、堤本町）を中心に栽培されている小粒系品種のぶどう「デラウェア」の出荷が7月中旬から始まります。昨年春の暖冬、4月の低温などで発芽はやや遅れ、収穫も例年より少し遅れています。部会員は安全、安心なぶどう作りを心がけ、収穫作業に力を入れています。その後は、猿投地区の手呂町で始まり8月下旬まで続きます。デラウェアは、豊田の市場に出荷予定です。各農家での収穫作業は早朝5時頃からはじまり、その後選別、箱詰めを行います。夕方にはJA前林農産物集出荷場に持ち寄り、共同集荷します。

デラウェアは春から芽かき、房作り、枝の誘引、ジベレリン処理、袋かけなどの丹精込めた作業ののち収穫します。ほどよい甘さと上品な芳香が特色で、子どもからお年寄りまで好まれています。

《令和2年度 JAあいち豊田ぶどう部会》

部会長：岩附 健司（いわつき けんじ）
栽培農家：17戸
栽培面積：6.0ha
出荷予定数量：8.06トン
主な出荷先：豊田市場を中心に出荷され、市内スーパーに並ぶ
出荷品種：デラウェア、巨峰



昨年の収穫作業の様子

今年も当日は収穫の様子が撮れます

取材対応日時

取材日時 令和2年7月16日（木） 午前8時
集合場所 JAあいち豊田前林カントリー（豊田市前林町立塚2）

※午前7時40分までに集合してください。

（ほ場地図を添付しますので、直接お越しいただいてもかまいません。）

※集合後、担当者が取材場所へご案内します。

※取材にお越しいただける際は、お手数ですが一度ご連絡ください。

お問い合わせ先：JAあいち豊田 営農部 高岡営農センター（豊田市高岡町長根13）
TEL (0565) 52-3024 FAX (0565) 54-8974
担当 林